

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「農業・食糧関連オープン」は、このたび、第4期の決算を行いました。

当ファンドは、農業・食糧関連株マザーファンドおよびアグリカルチャー・インデックスマザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第4期末(2015年3月5日)

基準価額	11,506円
純資産総額	418百万円
第4期	
騰落率	4.7%
分配金(税込み)合計	200円

(注)騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注)純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

#### <運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」ページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

# 農業・食糧関連オープン

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2014年3月6日～2015年3月5日

## 交付運用報告書

第4期(決算日 2015年3月5日)



〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ  
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

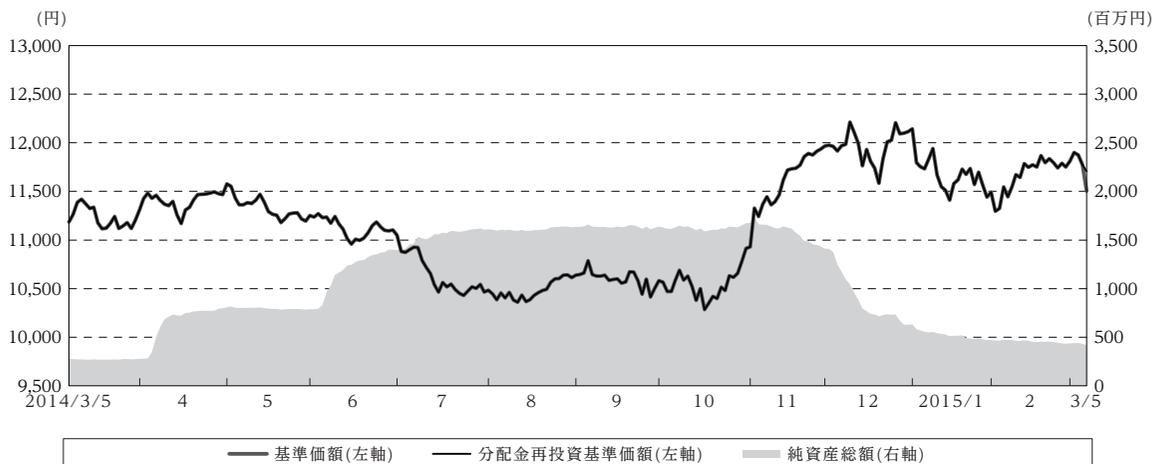
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2014年3月6日~2015年3月5日)



期 首：11,184円

期 末：11,506円(既払分配金(税込み)：200円)

騰落率： 4.7%(分配金再投資ベース)

(注)分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注)分配金再投資基準価額は、期首(2014年3月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注)上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

## (主なプラス要因)

- ・主要投資対象の「農業・食糧関連株マザーファンド」において、米国の底堅い個人消費の恩恵を受けて食肉関連企業や、栄養食品企業の株価が上昇したこと。
- ・主要投資対象の「農業・食糧関連株マザーファンド」において、米ドルが対円で上昇したこと。

## (主なマイナス要因)

- ・主要投資対象の「農業・食糧関連株マザーファンド」において、コストの増加などから企業業績が市場予想を下回った製菓企業の株価が下落したこと。
- ・主要投資対象の「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」において、豊作予想からトウモロコシを中心に農作物価格が下落したことを受けて、基準価額が下落したこと。

(2014年3月6日~2015年3月5日)

## 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項目の概要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬	179	1.588	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(85)	(0.758)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(85)	(0.754)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(9)	(0.076)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	16	0.142	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(16)	(0.142)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	4	0.035	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(4)	(0.035)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	19	0.166	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(16)	(0.144)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.009)	その他は、課税関連事務の委託手数料等
合 計	218	1.931	
期中の平均基準価額は、11,269円です。			

(注)期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

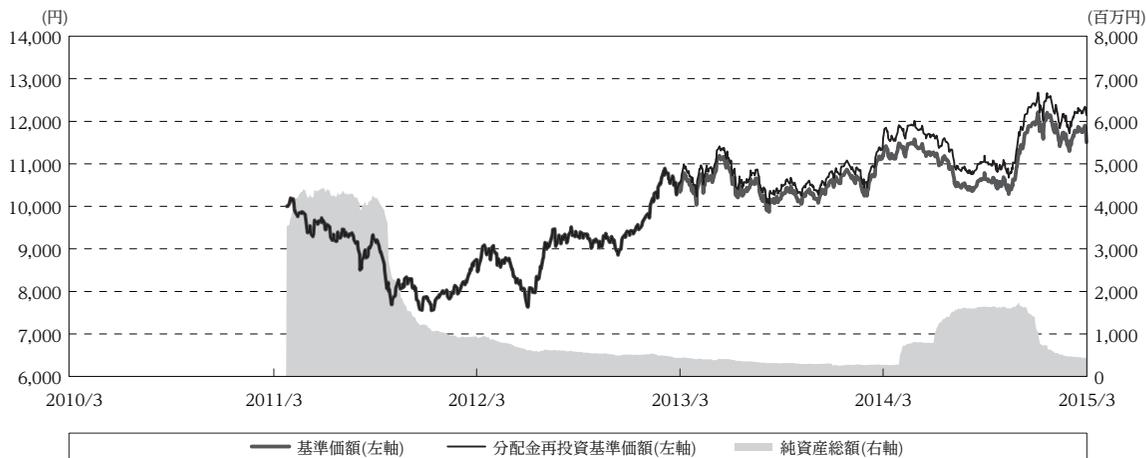
(注)各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注)売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(2010年3月5日~2015年3月5日)

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注)分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注)当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注)当ファンドの設定日は2011年3月31日です。

	2011年3月31日 設定日	2012年3月5日 決算日	2013年3月5日 決算日	2014年3月5日 決算日	2015年3月5日 決算日
基準価額 (円)	10,000	8,751	10,339	11,184	11,506
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	200	200	200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 12.5	20.4	10.1	4.7
純資産総額 (百万円)	3,544	939	431	273	418

(注)上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注)純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注)騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2012年3月5日の騰落率は設定当初との比較です。

(注)当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(2014年3月6日~2015年3月5日)

**投資環境**

当期の世界株式市場は、米国において低金利政策の継続や雇用改善が進展していることに加え、欧州中央銀行（ECB）が2014年6月にマイナス金利を導入するなど、積極的な金融緩和策が好感され上昇しました。10月にかけて、中東の情勢不安やロシアとウクライナの緊張の高まりに加え、世界景気の減速懸念などから調整局面となりました。しかしその後は、米国を中心とした企業業績の底堅さや、2015年1月にECBが量的金融緩和策を決定したことなどを好感して上昇する展開となりました。

商品市況については、豊作観測や需要の後退懸念などから、軟調な展開が続きました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2014年3月6日~2015年3月5日)

当ファンドは、「農業・食糧関連株マザーファンド」および「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の農業・食糧関連の企業の株式（DR（預託証券）、株式の値動きに価格が連動する債券を含みます。）およびブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に実質的に投資します。

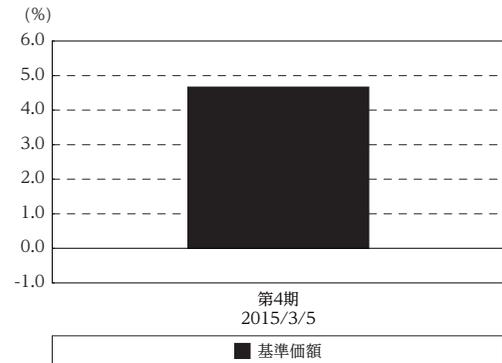
当期においては、農業・食糧関連株マザーファンドおよびアグリカルチャー・インデックスマザーファンドの組入比率をそれぞれ50%程度に維持して運用しました。

(2014年3月6日~2015年3月5日)

**当ファンドのベンチマークとの差異**

当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注)基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(2014年3月6日~2015年3月5日)

**分配金**

当ファンドは、毎年3月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。ただし、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

当期の分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準などを勘案し、200円（税込み）とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第4期
	2014年3月6日~2015年3月5日
当期分配金	200
（対基準価額比率）	1.709%
当期の収益	196
当期の収益以外	3
翌期繰越分配対象額	1,567

(注)対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
(注)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

主要な投資対象である「農業・食糧関連株マザーファンド」および「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」の組入比率をそれぞれ50%程度に維持して運用する方針です。

## &lt;農業・食糧関連株マザーファンド&gt;

種苗、農業化学、農業関連設備、食品・飲料製造、農産物の活用などの事業等に携わる農業、食糧関連企業の株式に着目し、収益力、財務体質、バリュエーション、株式市場の物色動向等を勘案した上で投資を行います。また、株式の組入比率は高位を保つことを基本とします。

## &lt;アグリカルチャー・インデックスマザーファンド&gt;

ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に保ち、運用する方針です。

## お知らせ

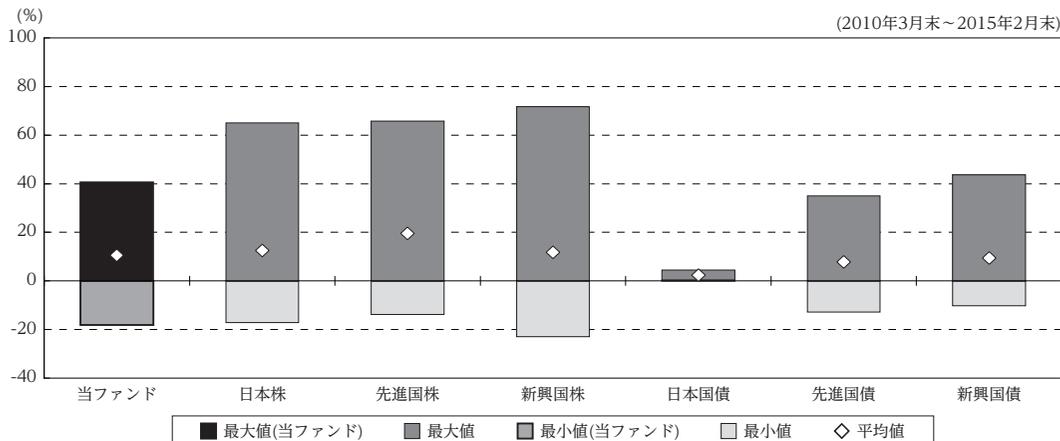
- ・ダウジョーンズUBSアグリカルチャー（農作物）サブ・インデックスからブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスへの名称変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2014年7月1日）
- ・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2014年12月1日）

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2011年3月31日から2021年3月5日までです。	
運用方針	マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の農業・食糧関連の企業の株式（DR（預託証券）、株式の値動きに価格が連動する債券を含みます。）およびブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に実質的に投資します。	
主要投資対象	当ファンド	農業・食糧関連株マザーファンドおよびアグリカルチャー・インデックスマザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	農業・食糧関連株マザーファンド	日本を含む世界の取引所上場の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
	アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を投資対象とし、ファミリーファンド方式で運用を行います。
	農業・食糧関連株マザーファンド	世界の農業および食糧に関連する企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資します。なお、株式の値動きに価格が連動する債券を組入れることがあります。投資にあたっては、種苗・農業化学、農業関連設備、食品・飲料製造、農産物の活用等の事業等に携わる、農業、食糧関連企業の株式に着目します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券（以下、ユーロ円建て債券といいます。）に投資し、当該インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉えることを目標に運用を行います。
分配方針	毎年3月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。ただし、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	40.6	65.0	65.7	71.8	4.5	34.9	43.7
最小値	△18.1	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	10.5	12.5	19.6	11.8	2.4	7.8	9.4

(注)全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注)2010年3月から2015年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。  
 なお、当ファンドにつきましては、2012年3月以降の年間騰落率を用いています。

(注)上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注)当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2015年3月5日現在)

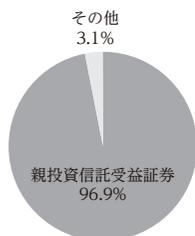
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
	%
農業・食糧関連株マザーファンド	48.9
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	48.0
組入銘柄数	2銘柄

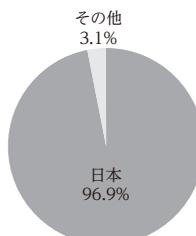
(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

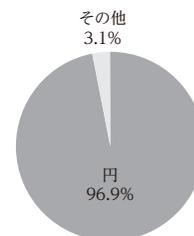
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注)国別配分につきましては発行国を表示しております。

## 純資産等

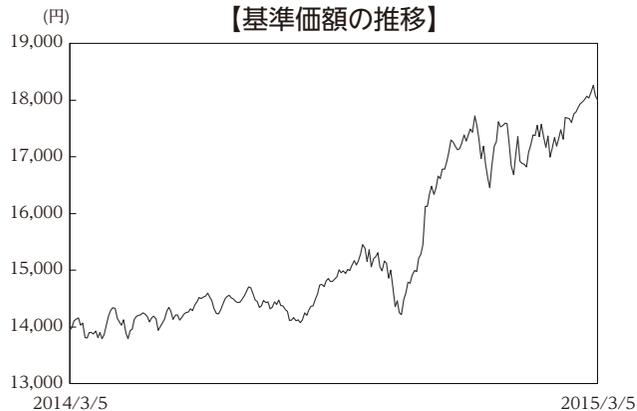
項	目	第4期末
		2015年3月5日
純資産総額		418,508,109円
受益権総口数		363,735,928口
1万口当たり基準価額		11,506円

\* 期中における追加設定元本額は1,404,020,864円、同解約元本額は1,285,124,936円です。

## 組入上位ファンドの概要

## 農業・食糧関連株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年3月6日~2015年3月5日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	45 (45)	0.289 (0.289)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	11 (11)	0.071 (0.071)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	43 (40) (3)	0.274 (0.256) (0.019)
合 計	99	0.634

期中の平均基準価額は、15,583円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、2 ページをご参照ください。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2015年3月5日現在)

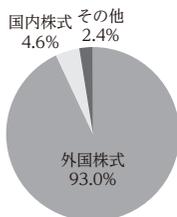
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	TYSON FOODS INC-CL A	食品・飲料・タバコ	米ドル	アメリカ	7.8
2	INTL FLAVORS & FRAGRANCES	素材	米ドル	アメリカ	7.1
3	MONSANTO CO	素材	米ドル	アメリカ	7.0
4	PEPSICO INC	食品・飲料・タバコ	米ドル	アメリカ	6.8
5	MOSAIC CO/THE	素材	米ドル	アメリカ	6.7
6	AGRIUM INC	素材	カナダドル	カナダ	6.6
7	HAIN CELESTIAL GROUP INC	食品・飲料・タバコ	米ドル	アメリカ	6.2
8	KERRY GROUP PLC-A	食品・飲料・タバコ	ユーロ	アイルランド	5.5
9	KROGER CO	食品・生活必需品小売り	米ドル	アメリカ	5.3
10	UNITED NATURAL FOODS INC	食品・生活必需品小売り	米ドル	アメリカ	4.8
	組入銘柄数	20銘柄			

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

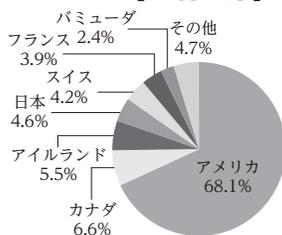
(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注)国(地域)につきましては発行国を表示しております。

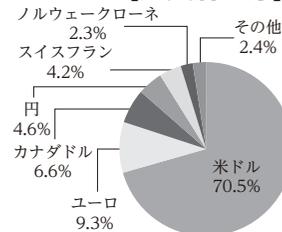
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

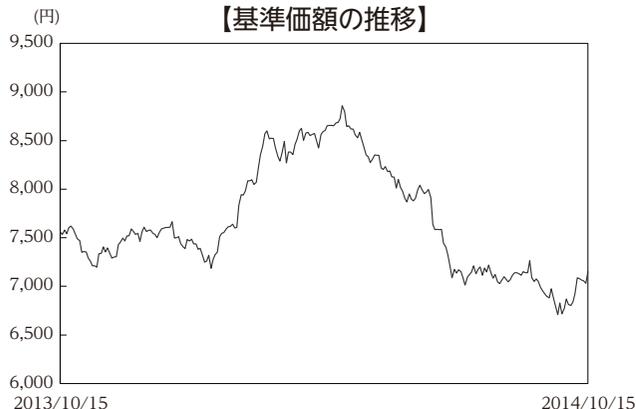
(注)国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注)当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

## アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2013年10月16日～2014年10月15日)

項 目	当 期
	円
(a)保 管 費 用 等	3
合 計	3

(注)1.費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a)保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

2.各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2014年10月15日現在)

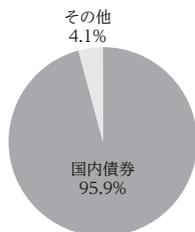
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	UBS-AGRICULTURE 20141128	普通社債券	円	イギリス	50.0
2	SG-AGRICULTURE 20141128	普通社債券	円	イギリス	45.9
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		2銘柄			

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

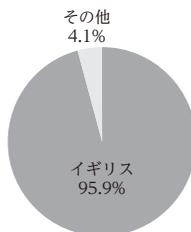
(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注)国（地域）につきましては発行国を表示しております。

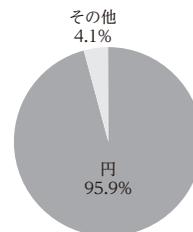
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注)国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注)当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### 〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### ○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。

なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。